

ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップとは

ため池ハザードマップは、大雨等によりため池が決壊するおそれがある場合の備えとして、安全な避難行動に役立てるために情報提供する目的で作成しました。このマップを見て、ご自宅や通勤・通学経路等、ご自身やご家族の生活圏内に浸水被害の可能性があることを事前に把握するとともに、避難場所や安全な道路を確認し、非常時の備えに役立ててください。

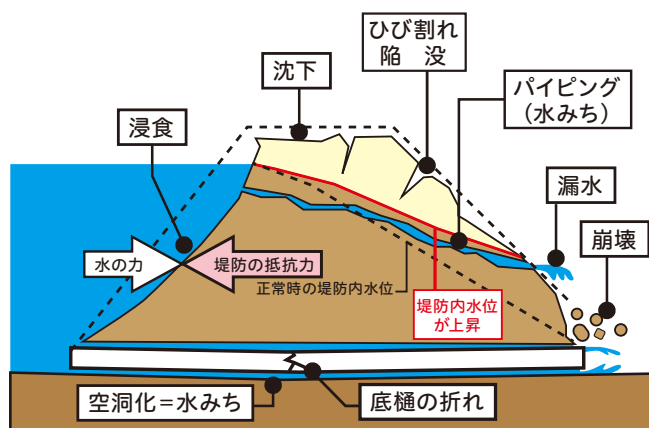
斑鳩町では、19ヶ所の防災重点ため池について、ハザードマップを作成しました。

※防災重点ため池とは、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池をいいます。

マップの注意点

- マップには、浸水想定区域や避難場所等を記載しておりますが、浸水想定区域外のところも状況によっては浸水する可能性がありますので、十分に注意してください。
- 水害が発生するおそれがある時には、町や報道機関からの水害情報、避難勧告、指示等に注意するとともに早めの自主避難を心がけて下さい。
- 避難場所に避難する余裕がない場合等、状況によっては自宅の2階など高い所に待機する垂直避難も有効な手段です。
- ため池の貯水量が無くなれば、浸水は徐々に減少していきます。
- 浸水は徐々に広がっていくため、最大浸水深は、浸水想定区域全体で同時に発生するものではありません。
- 浸水深は瞬間での最大の深さを示しており、継続的な深さを示したものではありません。
- 公表されたため池がただちに危険であることを示すものではありません。

ため池が危険なのはこんなとき!



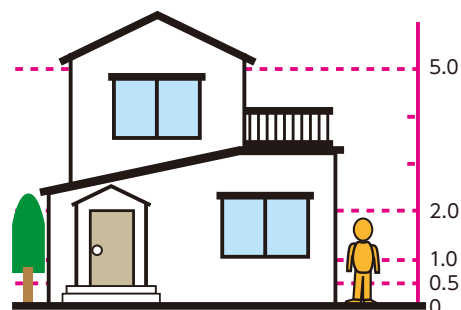
豪雨時

- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

浸水深の色の見方



浸水想定区域

浸水した場合に想定される水深

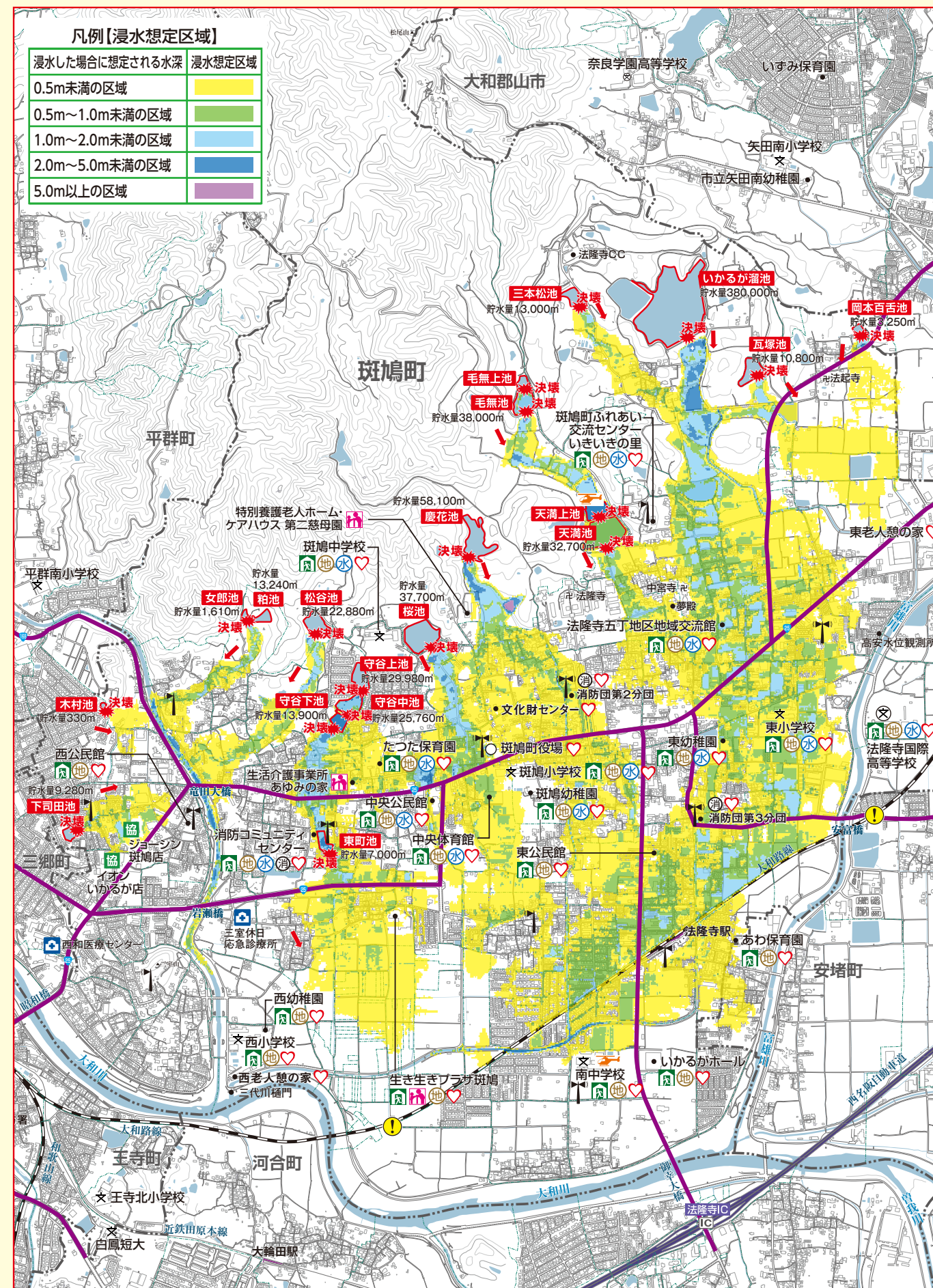
- 5.0m以上の区域
- 2.0m～5.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

ため池 ハザードマップ

ため池浸水想定全体図



- 凡例
- 町役場
 - ⊗ 警察署・交番・駐在所
 - ⊕ 消防団
 - 🏥 病院・診療所
 - ✈️ ヘリポート
 - ⚠️ アンダーパス
 - 📡 サイレン・有線放送
 - 📺 有線放送



- 凡例
- 🏠 指定緊急避難場所
 - 🏠 福祉避難所
 - 🤝 緊急時避難協力施設
 - 🚒 消防団
 - ❤️ AED設置
 - 🌍 地震のときに避難できる施設
 - 💧 洪水のときに避難できる施設

©2021 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.